

令和3年度 事業報告

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、昨年度から参加人数の制限など規模を縮小せざるを得ませんでした。語学文化講座、日本語教室、多文化理解講座では、感染対策をとり、オンライン講座等工夫しつつ実施しました。また、多言語情報の発信や生活相談、通訳依頼などに対応しました。ホームページを、より多くの方に情報が届くようスマートフォンや多言語対応とするためリニューアルしました。

公益目的 地域国際化事業

I 国際化に関する事業

・ 国際協力貢献

主に、通訳翻訳事業を実施しています。個人からの依頼は、出身国大使館に提出するための戸籍謄本など日本語の書類から英語への翻訳、留学のための日本語から英語への翻訳、出生証明書など英語から日本語への翻訳などです。必要に応じて、背景情報の調査や専門機関への問合せなども合わせて行いました。利用者への情報提供も適宜行い、不公平や不利益が生じないように努めました。

・ 語学文化講座

英会話（昼、夜、初級）、初級韓国語（冬期は初心者対象）、初級中国語をそれぞれ以下のとおり実施しました。秋期は、市民プラザ臨時休館期間があったため、開始を遅らせましたが、予定どおりの回数を実施することができました。また、市民プラザ利用人数が限られているため、定員はどの講座も減らして募集しました。

受講者数<定員超過でお断りした人数>

講座名（定員）	春期	秋期	冬期	計
英会話・昼（8）	7	5	7	19
英会話・夜（12）	12<4>	12	11	35<4>
初級英会話・昼（8）	7	4	9	20
初級中国語（8）	6	6	4	16
初級韓国語（12）	9	9	8	26
計（48）	41<4>	36	39	116<4>

・ 多文化理解

【日本文化理解講座「みそ料理」】

日本文化理解講座「みそ料理」を6月26日に市民プラザで実施しました。参加者は13名でした。株式会社越後みそ西様を講師に迎え、みその歴史、作り方など詳しくご紹介いただき、その後、「みそ玉づくり」「みそだれを使ったホイル焼き」を作りました。言語文化サポーター2名、（公財）新潟県国際交流協会の留学生交流推進員でもある新潟産業大学の学生2名（バングラデシュ、インドネシア出身）にボランティアとして参加していただき、出身国の料理の紹介をしてもらいました。「日本人のサポーターと一緒に作業が楽しかった」「みその歴史が知れてよかった」という感想をいただきました。



【キッズサマースクール「市民プラザでちょこっと世界めぐり」】

小学生を対象に、キッズサマースクールを8月6日に実施しました。参加者は、13名でした。

講師は、(公財)新潟県国際交流協会の留学生交流員派遣制度を活用し、新潟産業大学(スリランカ)と長岡技術科学大学(中国)の学生を派遣していただき、その他の講師として、新潟工科大学(モンゴル)の学生、市内在住のアメリカ出身の方に務めていただきました。また、ボランティアとして、ガールスカウト新潟県第1団関連の3名にご参加いただきました。



【国際理解セミナー：アジアから世界を知る！】

「世界で人気を得ている韓国の大衆文化(韓流)事情」

新潟産業大学金光林教授を講師に、10月9日に(公財)新潟県国際交流協会と共催で、県内全域で募集し、実施しました。柏崎市内外から参加され、会場は12名、オンラインは29名の参加者でした。世界的な韓流ブームの背景、アジアの大衆文化の流れなど、詳しくご講演いただきました。参加者からは、「動画配信サービスのドラマで関心を持ち参加し、人気の理由が分かった」「韓国の文化に更に興味を持つことができた」などの感想が寄せられました。



【多文化共生シンポジウム「私たち みんな 柏崎人」】

柏崎地域に生活する外国出身の方々の体験談をとおして、「みんな(外国出身者も日本人も)」が住みよい地域にするにはどうしたらよいか考えることを目的とし、11月27日に実施しました。会場は19名、オンラインは3名の参加者でした。シンポジストとして、柏崎市内で起業されている韓国出身の方、インドネシア出身の介護分野の技能実習生、ニュージーランド出身の外国語指導助手、スリランカ出身の新潟産業大学留学生をお迎えし、それぞれ生活や仕事の中で感じたことをお話しいただき、「外国人、日本人、というより一人の人間としての関わりが重要」「マイクロアグレッション～無意識の偏見や差別によって悪意なく誰かを傷つけること～についても気を付ける」「交流できる場がほしい」などの意見が出されました。参加者からは、「勇気をもって貴重な経験を話してくれた」「率直に困りごとを直接聞けて良かった」などのご意見を聞くことができました。



【多文化理解講座：ベトナムの食文化】

新潟県国際交流員のブイ・フォン・タオさんを講師に、3月4日に実施しました。参加者は10名、県内大学のベトナム出身の留学生3名でした。今回初めて当協会の講座に参加されるという方も数名おられました。「生春巻き」「バインミー(ベトナム風サンドウィッチ)」をつくる中で留学生が各テーブルを回り交流を積極的にはかってくれ、参加者からは「とても楽しかった。また参加したい」というご意見をいただきました。

【多文化共生学校出前プロジェクト】

今年度から開始した柏崎地域の小中学校、高校へ出向いて、多文化共生への理解を深めてもらうプロジェクトです。講師謝金を2名分、必要なときは通訳2名分まで無料で講座を実施するというものです。今年度は、3校に伺うことができました。

・新潟県立柏崎総合高校

10月21日に、3年生113名を対象に、実施しました。柏崎総合高校では、卒業後グローバル時代となった社会へ羽ばたく3年生へ向け、5名の講師を派遣し、そのうちの2名の講師を生徒が選択して講演を聞くというスタイルで実施しました。講師も中国内モンゴル出身、メキシコ出身、JICAボランティア経験者、技能実習生が働く企業の方、公邸料理人派遣の仕事に携わってきた方と背景も多岐にわたり、生徒にとって、これからのキャリアや、生活にいかせる貴重な講演をそれぞれの講師から聞いていただくことができました。



・新潟県立はまなす特別支援学校

11月10日に1年生9名教員4名を対象に、ブラジル出身講師から音楽とサンバの踊り方をご紹介します。動画を多く使い、ブラジルのボサノバなどの音楽や、お祭りの紹介をし、最後にサンバのステップを踏んで教員も生徒も全員で楽しく踊りました。

11月18日に2年生9名教員3名を対象に、アメリカ出身講師によるスーパーマーケットでの買い物ロールプレイを実施しました。両日とも実際に体を動かしたり、講師と話したりする体験で海外の文化に楽しく触れていただきました。



・新潟県立柏崎翔洋中等教育学校

2月16日及び18日に、5年生（高校2年生）2クラス計57名を対象に実施しました。アメリカ出身の講師が出身地カリフォルニア州の紹介とクイズ、英語でのゲームを実施しました。全て英語ということで、日頃学んでいる英語を使う機会として、生徒も積極的に発言したりコミュニケーションをとったりと充実した講座となりました。



II 情報収集提供事業

・ 多言語情報運営

オンラインで、ホームページやフェイスブックを通して情報を発信しました。新型コロナ関連では、政府機関、多文化共生に関わる団体（自治体国際化協会など）の多言語情報を発信しました。また、これらの情報に、柏崎の情報や解説をやさしい日本語で加えるなど、実際に読む方に伝わるよう工夫しています。また、ホームページの一部がスマートフォンで見えないという不具合の解消や、今後の多言語情報発信のため、ホームページをリニューアルしました。

・ 広報啓発

今年度、団体は36団体、個人は92名のご加入をいただいております。ご紹介や関係団体へのお声掛けにより、団体会員の新規加入が7社ありました。3月に「協会ニュース34号」を発行し、柏崎市内町内会で回覧しました。これまで多文化共生という考え方に触れたことがない方にも、世界に興味を持っていただけるような内容としました。

III 活動協力育成事業

・ 人材育成

8月27日に第1回、12月1日に第2回の「言語文化サポーター代表者会議」を実施しました。第1回では、新型コロナウイルス感染症に関する広報に関して、外国人向けの情報提供について県から依頼があったこともあり、外国人住民に情報を提供するにはどうしたらより伝わりやすいか、どのような手段がよいかなどの意見を多文化サポーターから聞き取り、今後の情報提供体制を話し合いました。また、新型コロナウイルス感染症に対応して「病院のかかり方」について見直し、多言語で発信できるようにしました。

12月1日には、2回目を実施しました。柏崎市商業観光課職員から災害時の「多言語支援センター」についてお聞きし、冬に向けての情報発信などについて話し合いました。また、市の防災行政無線（令和2年度放送文）を参考に、大雪時の注意事項について翻訳練習を行いました。

今後も状況を鑑みながら、言語文化サポーターや外国人住民との橋渡し役となれる人の育成、研修を実施します。



・ 民間協力

当協会窓口で以下のものを収集しています。

◆ ステナイ生活協力 送付先：特定非営利活動法人シャプラニール

未使用切手・はがき、使用済切手、テレフォンカードなどは換金され、南アジアの人びとの生活向上を目指した活動にいかされています。

◆ 外国コイン募金 送付先：公益財団法人日本ユニセフ協会

外国コインは、世界の子どもの命と健康を守るための活動に使われています。

IV 地域協働支援事業

・ 生活相談

今年度は、当協会事業の内容に関することも含め 197 件の相談が寄せられました。生活面ではごみの出し方やPCR検査についてのほか、柏崎市内の事業所からの外国人対応についての相談や外国人住民からの相談で継続して対応するケースなどがありました。これらを含む個別の相談に関しては、人権保護に直結する事柄でもあり、注意深く対応しました。

・ 日本語支援

日本語教室では、アクリルボードの設置、換気ができる広い教室の使用、受講者に体温測定を義務付けるなど十分な対策を講じた上で、春期及び秋期は昼夜2講座各1時間ずつ実施し、冬期は天候を考慮して、昼のみ実施しました。また、オンライン講座を秋期夜のクラスで試験的に実施しました。受講者が少ないのは、外国人の入国が制限されていたことも理由の一つと考えられます。

講師は、原則、昼2名、夜2名の体制で実施しました。他に、2名支援員としての協力者があり、研修しながら支援に当たっています。

受講者数

	昼	夜	計
春期	3	16	19
秋期	3	15	18
冬期	3	—	3
計	9	31	40

教育委員会から小学校での児童への支援要請があり、新規で1校2名への支援のため、日本語指導ができる言語文化サポーターを紹介しました。このほか、昨年度から継続して2校、2名への支援を行いました。

貸借対照表
令和4年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
預金	7,363,636	7,537,776	△ 174,140
前払費用	4,500	9,000	△ 4,500
流動資産合計	7,368,136	7,546,776	△ 178,640
2 固定資産			
基本財産			
有価証券	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	100,000,000	100,000,000	0
その他の財産			
多文化共生事業積立金預金	0	500,000	△ 500,000
コロナ禍対応事業積立預金	200,000	0	200,000
退職給与引当預金	540,005	480,005	60,000
特定資産計	740,005	980,005	△ 240,000
その他			
敷金	9,000	18,000	△ 9,000
その他の固定資産計	9,000	18,000	△ 9,000
固定資産合計	100,749,005	100,998,005	△ 249,000
資産合計	108,117,141	108,544,781	△ 427,640
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金	169,407	153,152	16,255
流動負債合計	169,407	153,152	16,255
2 固定負債			
退職給与引当金	540,005	480,005	60,000
固定負債合計	540,005	480,005	60,000
負債合計	709,412	633,157	76,255
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
地方公共団体出捐金	100,000,000	100,000,000	0
指定正味財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	100,000,000	100,000,000	0
2 一般正味財産			
一般正味財産	7,407,729	7,911,624	△ 503,895
(うち当期正味財産増減額)	△ 503,895	97,406	△ 601,301
正味財産合計	107,407,729	107,911,624	△ 503,895
負債及び正味財産合計	108,117,141	108,544,781	△ 427,640

公益財団法人柏崎地域国際化協会

貸借対照表内訳表

令和4年3月31日現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人管理	合計
I 資産の部			
1 流動資産			
預金	1,932,590	5,431,046	7,363,636
前払費用	0	4,500	4,500
流動資産合計	1,932,590	5,435,546	7,368,136
2 固定資産			
基本財産			
有価証券	100,000,000	0	100,000,000
基本財産計	100,000,000	0	100,000,000
その他の財産			
コロナ禍対応事業積立預金	200,000	0	200,000
退職給与引当預金	0	540,005	540,005
特定資産計	200,000	540,005	740,005
その他			
敷金	0	9,000	9,000
その他の固定資産計	0	9,000	9,000
固定資産合計	100,200,000	549,005	100,749,005
資産合計	102,132,590	5,984,551	108,117,141
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金	9,432	159,975	169,407
流動負債合計	9,432	159,975	169,407
2 固定負債			
退職給与引当金	0	540,005	540,005
固定負債合計	0	540,005	540,005
負債合計	9,432	699,980	709,412
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
地方公共団体出捐金	100,000,000	0	100,000,000
指定正味財産合計	100,000,000	0	100,000,000
(うち基本財産への充当額)	100,000,000	0	100,000,000
2 一般正味財産	2,123,158	5,284,571	7,407,729
正味財産合計	102,123,158	5,284,571	107,407,729
負債及び正味財産合計	102,132,590	5,984,551	108,117,141

公益財団法人柏崎地域国際化協会

正味財産増減計算書
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	差異(当-前)
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産運用益	522,000	522,000	0
その他の財産運用益	4	6	△ 2
受取会費			
賛助会員会費	527,000	421,000	106,000
事業収益			
国際化事業収益	1,202,524	540,533	661,991
受取補助金等			
受取地方公共団体負担金等	5,850,000	5,750,000	100,000
雑収益			
受取利息	109	412	△ 303
雑収益	0	200	△ 200
経常収益計	8,101,637	7,234,151	867,486
(2) 経常費用			
給与	4,216,800	4,128,000	88,800
臨時雇賃金	647,878	985,390	△ 337,512
法定福利費	732,809	644,107	88,702
福利厚生費	23,699	24,873	△ 1,174
退職給付引当金繰入額	60,000	60,000	0
会議費	40,116	25,961	14,155
旅費交通費	30,540	40,010	△ 9,470
通信運搬費	176,607	146,130	30,477
消耗品費	307,338	138,551	168,787
印刷製本費	102,829	102,798	31
賃借料	282,164	75,745	206,419
諸謝金	1,480,185	698,080	782,105
広告宣伝費	418,000	0	418,000
支払負担金	20,000	20,000	0
雑費	66,567	47,100	19,467
経常費用計	8,605,532	7,136,745	1,468,787
当期経常増減額	△ 503,895	97,406	△ 601,301
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 503,895	97,406	△ 601,301
一般正味財産期首残高	7,911,624	7,814,218	97,406
一般正味財産期末残高	7,407,729	7,911,624	△ 503,895
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
受取地方公共団体負担金等	5,850,000	5,750,000	100,000
一般正味財産への振替額	5,850,000	5,750,000	100,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	100,000,000	100,000,000	0
指定正味財産期末残高	100,000,000	100,000,000	0
III 正味財産期末残高	107,407,729	107,911,624	△ 503,895

公益財団法人柏崎地域国際化協会

正味財産増減計算書内訳表
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業	法人管理	合計
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産運用益	366,000	156,000	522,000
その他の財産運用益			
その他の財産運用益	0	4	4
受取会費			
賛助会員会費	527,000	0	527,000
事業収益			
国際化事業収益	1,202,524	0	1,202,524
受取補助金等			
受取地方公共団体負担金等	4,900,000	950,000	5,850,000
雑収益			
受取利息	109	0	109
経常収益計	6,995,633	1,106,004	8,101,637
(2) 経常費用			
給与	3,669,000	547,800	4,216,800
臨時雇賃金	647,878	0	647,878
法定福利費	595,080	137,729	732,809
福利厚生費	0	23,699	23,699
退職給与引当金繰入額	0	60,000	60,000
会議費	25,934	14,182	40,116
旅費交通費	27,340	3,200	30,540
通信運搬費	150,002	26,605	176,607
消耗品費	293,447	13,891	307,338
印刷製本費	98,306	4,523	102,829
賃借料	226,164	56,000	282,164
諸謝金	1,480,185	0	1,480,185
広告宣伝費	385,000	33,000	418,000
支払負担金	20,000	0	20,000
雑費	12,980	53,587	66,567
経常費用計	7,631,316	974,216	8,605,532
当期経常増減額	△ 635,683	131,788	△ 503,895
当期一般正味財産増減額	△ 635,683	131,788	△ 503,895
一般正味財産期首残高	2,758,841	5,152,783	7,911,624
一般正味財産期末残高	2,123,158	5,284,571	7,407,729
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
受取地方公共団体負担金	4,750,000	950,000	5,700,000
民間団体委託金	150,000	0	150,000
一般正味財産への振替額	4,900,000	950,000	5,850,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	100,000,000	0	100,000,000
指定正味財産期末残高	100,000,000	0	100,000,000
III 正味財産期末残高	102,123,158	5,284,571	107,407,729

財 産 目 録
令和4年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	預金	普通預金 柏崎信用金庫 本店	運転資金として	4,732,939
		定期預金 柏崎信用金庫 本店	運転資金として	2,630,697
	前払費用	遠藤 聡子	4月分駐車場料金として	4,500
流動資産合計				7,368,136
(固定資産)				
基本財産	有価証券	139回共同発行市場 公募地方債 みずほ証券	公益目的保有財産であり、運用益を国際化協会の事業及び管理目的の財源として使用している。	50,000,000
		149回共同発行市場 公募地方債 野村証券		50,000,000
その他の 財産	コロナ禍対応事業 積立預金	定期預金 柏崎信用金庫 本店	アフターコロナに対応する事業のための積立金	200,000
	退職給与引当預金	普通預金 柏崎信用金庫 本店	退職金支給に向けての積立金	540,005
その他	敷金	遠藤 聡子	駐車場を借りるための敷金 契約期間:令和3年4月1日から令和5年3月31日まで	9,000
固定資産合計				100,749,005
資産合計				108,117,141
(流動負債)				
	預り金	職員、講座講師から預かっているもの	源泉所得税、市県民税、社会保険料等未払いのもの	169,407
流動負債合計				169,407
(固定負債)				
	退職給与引当金		退職金支給のための引当金	540,005
固定負債合計				540,005
負債合計				709,412
正味財産				107,407,729

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

満期保有目的の債券は、取得価格を採用している。

(2) 資金の範囲について

資金の範囲には、現金預金及び前払費用、敷金、預り金を含めている。

2 会計方針

新公益法人会計基準によっている。

3 基本財産・その他の財産(特定資産)・その他の財産(その他)の増減額及びその残高

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
有価証券	100,000,000	0	0	100,000,000
小 計	100,000,000	0	0	100,000,000
その他の財産(特定資産)				
退職給与引当預金	480,005	60,000	0	540,005
コロナ禍対応事業積立預金	0	200,000	0	200,000
多文化共生事業積立預金	500,000	0	500,000	0
小 計	980,005	260,000	500,000	740,005
その他の財産(その他)				
敷金	18,000	0	9,000	9,000
小 計	18,000	0	9,000	9,000
合 計	100,998,005	260,000	509,000	100,749,005

4 担保に供している資産

該当事項なし

5 減価償却資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当事項なし

6 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の期末残高

該当事項なし

7 保証債務

該当事項なし

8 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

*評価額は、令和4年3月31日時点における証券会社の評価・算定価格である。

(単位：円)

科 目	帳簿価格	*評価額	評価損益
共同地方債			
139回共同発行市場公募地方債	50,000,000	50,685,000	685,000
共同地方債			
149回共同発行市場公募地方債	50,000,000	50,761,850	761,850
合 計	100,000,000	101,446,850	1,446,850

9 負担金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
負担金	柏崎市	0	5,700,000	5,700,000	0
委託金	(公財)新潟県国際交流協会	0	150,000	150,000	0
合 計		0	5,850,000	5,850,000	0

10 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

(単位：円)

内 訳	金 額
経常収益への振替額	
事業費への充当額	4,900,000
管理費への充当額	950,000
合 計	5,850,000

11 関連当事者との取引の内容

該当事項なし

以上